

# 阿用地区 振興協議会だより



阿用地区振興協議会 令和6年12月31日発行 第177号  
 〒699-1224 雲南市大東町東阿用33-1  
 電話・FAX (0854) 43-2811  
 Eメール ayo-c@hotaru.yoitoko.jp

11月1日には平成16年に雲南市が誕生してから20周年を迎えました。阿用地区では平成15年に振興協議会、公民館、そして連合自治会長会で構成する「地域おこし協議会」が発足、17年に阿用地区振興協議会を「地域自主組織」に改組し10

物価高で生活が苦しいなか米不足になり驚かされました。主食の米も高騰し生活に影響を与えて今も高止まりしたままです。米農家としては生産者米価が30年程前のレベルに上がったことで生産コストが幾らか価格転嫁でき将来に少し希望が見えたように思いますが、消費者米価も上がり複雑な思いです。企業でも少子高齢化による人手不足や物価上昇などを背景に賃金を上げる動きが広がっていますが、購買意欲などを考慮したバランスのとれた価格転嫁が必要と言われています。



**年頭のあいさつ**  
 阿用地区振興協議会 会長 後藤 友則  
 あけましておめでとうございます。皆様方には清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。  
 令和6年は、

年計画の「阿用地区づくりマスタープラン」を策定、地域課題を住民自らの手で解決する実行力のある組織となりました。平成22年には公民館が交流センターとなり、後に振興協議会の組織改革で役員構成が現在の体制になりました。そして第2次、第3次地区振興計画により活動を継続しています。

昨年の振興協議会の活動は、地域づくりでは「田舎米作り体験」を開催し関係人口の取込みを図るきっかけができたと思います。地域福祉では新しい取り組みの「男の居場所づくり晩飯会」をにぎやかに開催しました。生涯学習では小学校5、6年生の「わくわく宿泊体験」を行いました。10月は5年ぶりに「地区民体育大会」が秋晴れのなかで和やかに行われました。11月には「アヒ祭り」



を主催し楽しい場となりました。その他の活動も地区の皆様の世代を超えた交流の場となりました。交流センターの和室に「和顔愛語(わげんあいご)」の額縁が飾ってあることに気付きました。これは昭和29年公民館竣工、或いは49年新築の頃のものと思われまます。「和やかな顔と思いやりの言葉で人に接すること」を意味します。先輩方が地域おこしの基本姿勢として飾られたものに推測します。この思いを心に留めて、春に向け年度のまとめを行い、新年度の計画を描いていきます。

本年も阿用地区の振興に尽力して参りますので、ご意見ご協力を頂きますようお願いいたします。新しい年が皆様にとって良い年になりますことを祈念しまして年頭のあいさつと致します。



今年も阿用地区振興協議会の事業につきましてご理解、ご協力頂きありがとうございます。よいお年をお迎えください。

## 年末・年始休業のお知らせ

**休館期間**  
 12月29日(日)～1月3日(金)  
 ※但し、休館中に施設を使用したい場合は、12月27日までに交流センターへ連絡をお願いします。

## 施設の使用料が変わります

令和7年(2025年)4月1日から施設の使用料を改定します。

【阿用交流センター】の施設使用料は次のように変わります。  
 単位：円/時間

部屋名	使用区分	R7.3.31まで	R7.4.1から
調理室	冷暖房を使用しない場合	380	420
	冷暖房を使用する場合	430	470
研修室	冷暖房を使用しない場合	380	420
	冷暖房を使用する場合	430	470
和室①	冷暖房を使用しない場合	380	420
	冷暖房を使用する場合	430	470
和室②	冷暖房を使用しない場合	380	420
	冷暖房を使用する場合	430	470
講義室	冷暖房を使用しない場合	960	1,050
	冷暖房を使用する場合	1,070	1,170

※ 実際の使用日が4月1日以降であれば新しい使用料が適用されます  
 ※ 市外の方が利用された場合、営利目的で利用された場合は上記の使用料の2倍の額となります  
 ※ 市外の方が営利目的で利用された場合は上記の使用料の3倍の額となります

お問い合わせ先  
 大東総合センター自治振興課  
 TEL 43-8160

## 1月の行事予定(睦月) ※青字は交流センターで行われる行事、緑字は小学校の行事、ピンクは市関係です

日	月	火	水	木	金	土
			1 元旦 年始休館1月3日まで	2	3	4
5 古紙回収日(交流センター)	6 阿用いきいき健康サロン 18:00	7 不燃・有害ごみ収集日	8 古紙回収日(自治会資源ごみ収集場所) 挨拶運動(東上・宮内) 7:40	9 阿用いきいき健康サロン 9:00	10	11 俳句会 13:30
12 雲南市消防団出初式 9:00	13 阿用いきいき健康サロン 18:00 成人の日	14	15	16 阿用いきいき健康サロン 9:00	17 ピン・カン、古着収集日 パソコン教室 13:30	18
19 うんなん家庭の日 ごみ直接持込日 雲南市長選挙投票日	20 阿用いきいき健康サロン 18:00	21	22	23 阿用いきいき健康サロン 9:00 大東町自主組織連絡協議会 9:30	24	25
26 新年賀会 15:00	27 阿用いきいき健康サロン 18:00	28 自治会長会 19:00	29	30 阿用いきいき健康サロン 9:00	31	

## 人権・同和教育研修会開催

人権・同和教育研修会を、11月30日(土)に阿用地区振興協議会、阿用小学校、阿用小学校PTAの共催により阿用小学校で開催し、約40名の参加がありました。

講師には、松江市在住「源氏螢の会」の三浦成人さんを迎え「生きるということ」と題してお話いただきました。

三浦さん自身も被差別地区に生まれ、幼い頃に両親が部落差別から逃れるため隠岐の島町に移住し出会った知人や地域の人達との交流から優しさに触れたこと。小学校6年の担任の助言により中学校からは、夢を実現させるために本土の被差別地区に住む祖母との暮らしの中で同級生から意味も分からず受けた暴力と暴言から初めて気づく差別問題。悔しさと悲しみの中で「私のようになつてほしくない」と励まし続けてくれた祖母。学ぶことを諦めず高校と進み、祖母に感謝しつつ大学へ進学したことを涙をこらえて話される姿に、私たちも涙でした。



大学では自身の出自を隠して生活する中で、人種差別の出来事がきっかけで一人の在日韓国人学生と親友となった。その友人との心温まるエピソードは、ほっとする気持ちになりました。社会人になり結婚、幸せな生活も差別により離婚、どうすることもできない悔しさがあがりながら、子ども達を育てられた三浦さんの強さを感じました。「人を差別していい理由なんてどこにもない」「差別をする人がいるから差別がある!」「自身の体験を話される姿に、文字より、映像より、はるかに心に刺さる言葉がありました。今回の研修会で、改めて人権について考える機会を頂き、差別のない住みよい社会になるようこのような研修会の大切さを感じました。お忙し中ご参加頂いたみなさん有難う御座いました。

## お世話になりました

11月27日チエリヴァホール(木次町)で開催された第17回雲南地区交通安全大会に於いて秋口幹夫さん(明賀谷自治会)は、雲南警察署長・雲南地区交通安全協会会長連名表彰にて感謝状を授与されました。

秋口さんは、令和5年度をもって雲南地区交通安全協会阿用支部長を退任されました。平成16年から20年間、地域の交通安全活動にご尽力いただきました。多年の活動に感謝申し上げます。



## 高齢者交通安全教室開催

11月26日雲南地区交通安全協会阿用支部(支部長・安川勝美)は、高齢者交通安全教室を阿用寿会の皆様27名に参加いただき開催しました。

雲南警察署阿用駐在所の巡查部長片岡義徳さんの講義により「高齢者の交通事故防止」についてお話をいただきました。DVDの視聴により交差点等での交通事故事例が沢山紹介され、それぞれの事例ごとに事故原因について説明がありました。常に先のことと予測しながら運転することが大事で事故防止につながるお話がありました。

また、詐欺被害についても話があり、被害金額は、全国で約1,228億2千万円(令和6年1月~8月末)、島根県は、約6億円(令和6年1月~9月末)あったと話がありました。被害額の高さに驚くと共に他人事ではなく誰かが騙される可能性があることを痛感しました。



## みもスクール

10月29日 阿用小学校3・4年生は、地元の山林で檜の間伐体験を行いました。講師の竹田正彦さんに間伐の大切さや木の切り方や倒し方を教わり、児童は、2班に分かれ、竹田さんや地域の方と一緒にノコギリで檜に受け口、追い口を作りました。切込みが終ると結びつけたロープを引っ張って倒し、枝打ちと玉切りの作業も行いました。作業時間は、約2時間で5本を間伐しました。休憩時間を忘れるぐらい熱心に取り組み、作業後は、子ども達の「楽しかった。」の聲が山に大きく響き渡りました。

12月5日 みもスクールは、最終回を迎えました。この日は、間伐材でフクロウのマグネットを作りました。初回から指導いただいている島根県森林インストラクターの竹田正彦さんに作り方を教わりました。竹田さんに準備いただいた木のパーツを選んでフクロウの土台に目、くちばし、耳、足の順に接着剤で貼り付け、最後にペンで目を入れてフクロウの完成です。2時間で個性豊かなフクロウが沢山出来あがりしました。

児童からは「面白かった。可愛いフクロウが出来てよかった。」「楽しかった。みんな違って個性的なフクロウが出来た。」と感想がありました。みもスクールは、今年度も座学、間伐、木工を通して楽しく森林について学びました。



## 玉葱苗植え

11月25日 県道沿いの中央花壇に阿用小の1年生が玉葱苗を植えました。児童は、細貝農業振興部長さんから玉葱の生育や植え方について話を聞いて作業に入りました。最初は、植える本数に驚いていましたが、段々に慣れて作業は、順調に進み約30分で800本の苗を植えました。子どもたちは、来年6月頃の収穫を楽しみにしていました。

